

港湾・漁港

浮棧橋改築
ポツーン
連絡橋
屋根
世界遺産候補
色彩選定

奈留島の観光ルート沿線で、
自然景観と調和した浮棧橋を整備

【相の浦港（夏井地区）浮棧橋整備事業】

事業概要

五島市奈留町大串
浮棧橋1基（長さ20m、幅10m）
港湾区域における浮棧橋の改築工事
（浮棧橋・渡橋の改築、屋根の設置）

地域の特徴

五島市の二次離島、奈留島の北部に位置する港であり、海と山に囲まれた集落に接している。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である江上天主堂（重要文化財）と島の玄関口である浦地区とを結ぶ観光ルートの沿線に当たる。

専門家の意見

- ①屋根のデザインは、スリムでシンプルな構造としてはどうか。
- ②柱や梁部分は、強烈な色の塗装は避けた方がよい。

配慮した点

I 周辺の景観と調和するよう、シンプルな形状と落ち着いた色合いにした。（意見①②）

【屋根材の比較】



【整備前後】



シンプルなデザインの浮棧橋

【整備のポイント】



屋根はアルミハニカムパネル構造を採用し、下地の鉄骨が少ないシンプルな形式とした。（意見①）
H鋼とアルミパネルに隙間があるため、海面の光が反射して屋根の下が明るくなっている。



周辺の景観に配慮し、青色等の原色は避け、落ち着いたグレー系の色を選定した。（意見②）

まとめ

- ・浮棧橋と連絡橋の色を統一し、落ち着いた色を選定したため、周辺の自然環境とも調和しており、類似事業の参考となる事例である。

港湾・漁港

強風対策 防風フェンス
世界遺産候補 色彩選定

しまの玄関口で、
圧迫感と違和感の少ない防風フェンスを整備

【奈留漁港水産流通基盤整備事業(防風フェンス)】

事業概要

五島市奈留町泊
防風フェンス延長287m、高さ9.25~11.5m
基幹的漁港における防風フェンスの新設工事

地域の特徴

五島市の二次離島、奈留島の南部に位置する基幹的な漁港であり、島の玄関口であるフェリー桟橋に近い。島内には、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である江上天主堂（重要文化財）や多くの景勝地が存在しており、観光客の目に触れやすい場所である。

専門家の意見

- ①背景に溶け込むような色を選定してほしい。
- ②色を決める際はフォトモンタージュだけで判断せず、現場で確認した方がよい。
- ③フェリーの航路上であるため、機能的に必要な高さを確保しつつ、できるだけ低く抑えられないか検討してほしい。

配慮した点

- I 色見本を現地に設置し、周辺の色調との調和を考慮した。(意見①②)
- II 整備基準に合った最低限の高さとした。(意見③)

【色の検討(意見②)】



グレーベージュ
(採用)



ダークグレー



ダークブラウン

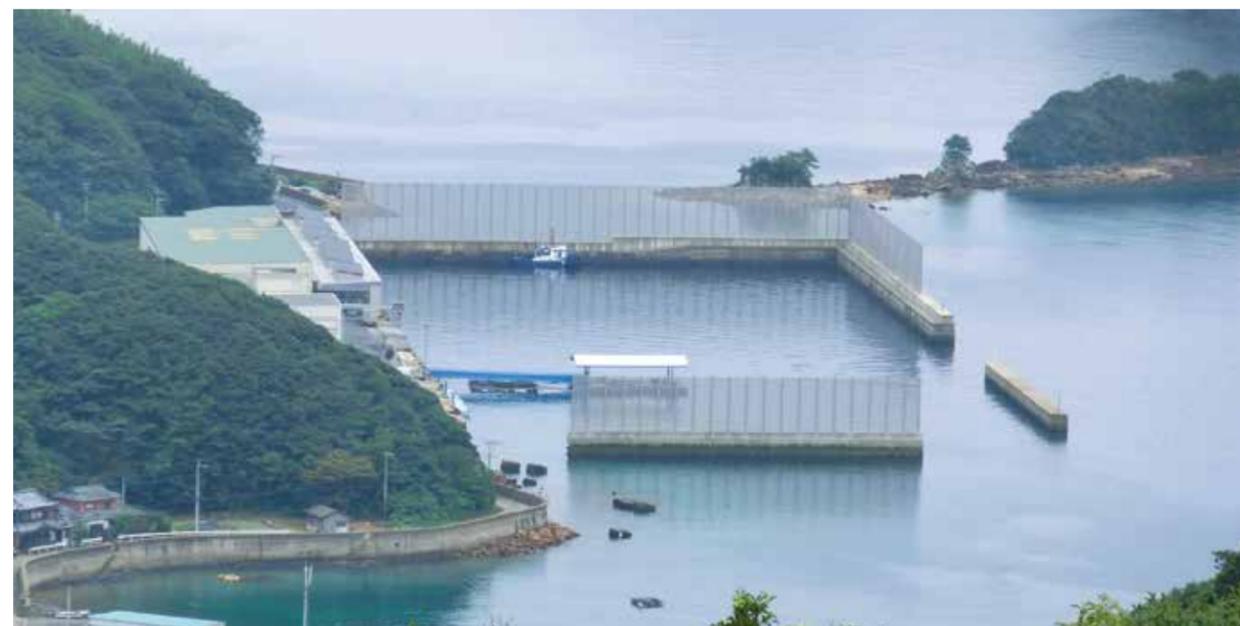


ドブメッキ



航路上から見た防風フェンス

【整備後の全景】



【整備のポイント】



周辺の景観と調和するグレーベージュを選定した。(意見①)

まとめ

- ・防風フェンスは、地元住民の生活や産業を守るために必要な構造物であるが、できる限り設置ダメージを抑えるため、フォトモンタージュだけで色や透過性を決めるのではなく、製品見本を作製し、現場で確認するなど慎重に検討を行った事例である。